
日本航空電子工業株式会社、固定電話の IP 網化でインターネット EDI への移行を早期決断
B2B サーバ「ACMS B2B」でセキュアな EDI システムを実現

～インターネット EDI 移行後、一斉伝送により伝送時間が従来の 1/2 に短縮～

株式会社データ・アプリケーション(本社:東京都中央区、代表取締役社長:武田 好修、略称: DAL、JASDAQ: 3848)は、日本航空電子工業株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:小野原 勉)が、NTT 東西による固定電話の IP 網化の対応策としてインターネット EDI への移行に、DAL の B2B サーバ「ACMS B2B バージョン 5」を採用したことをお知らせします。

日本航空電子工業株式会社は、コネクタ事業をはじめ、インターフェース・ソリューション事業、航機事業をグローバル展開する製造事業者です。これまで同社の EDI は、DAL の B2B サーバ「ACMS B2B バージョン 4^{*1}」を使い ISDN 回線で行ってきました。しかし、過去にダイヤルアップルータに障害が発生した際に、その代替機を市場で調達できないという事態に直面し、ISDN 回線を使い続けていくことのリスクを認識。また、2024 年 1 月には固定電話が IP 網へ移行されることもあり、インターネット EDI へ早期に移行することを決断しました。

インターネット EDI へ移行するにあたり、課題にあがったのは、セキュアな EDI 環境を用意することでした。同社は、ACMS B2B の既存ユーザであり、インターネット EDI への移行は、通信プロトコルを追加するだけでも実現は可能でした。しかし、インターネット EDI に欠かせないセキュリティを確保することが移行の重要なポイントとなり、それを実現する「ACMS B2B バージョン 5」へアップグレードすることになりました。「ACMS B2B バージョン 5」は、2 ノード構成による分散配置が可能です。重要な業務データや管理情報はローカルネットワーク内に、通信機能を DMZ (DeMilitarized Zone)^{*2} に配置することで、インターネットの脅威に備えることができます。また、今回採用された通信プロトコルは、SSH の仕組みでセキュアに通信できるプロトコル SFTP で、豊富な通信プロトコルをもつ ACMS B2B なら、今後の取引先の要望にあわせ通信プロトコルを追加することができます。

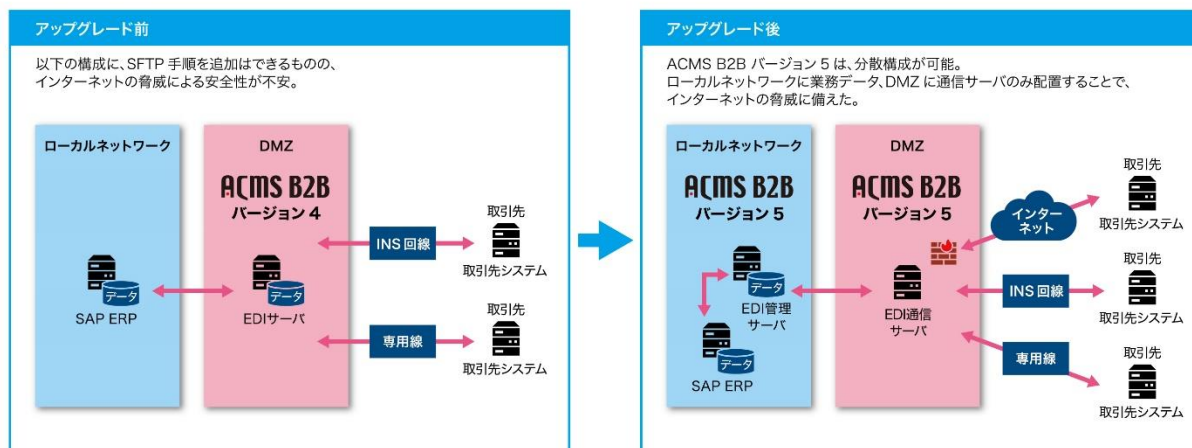
同社では、従来の ISDN を使った EDI では、遅延を防ぐため一定のデータ単位で一日に何度も伝送を行っていましたが、インターネット EDI へ移行後、一斉伝送が可能となり、伝送時間は 1/2 以下に短縮されました。

同グループの情報システム開発・運用を担う航空電子ビジネスサポート株式会社 システム開発部 主任 吉田昇様からは以下のコメントをいただいております。

「この先、本格的に JEITA (一般社団法人電子情報技術産業協会) の VAN サービスとのインターネット EDI による接続が始まれば、さらにめざましい効率化効果が享受できるのではと期待しています。」

DAL は、2024 年 1 月の固定電話の IP 網化という EDI の変革期に向けて、各業界での取り組みに協力するとともに、企業におけるインターネット EDI への移行を支援してまいります。

【システム構成図】



※1 ACMS B2B バージョン 4 には、分散配置機能はございません。バージョン 5 から実装されています。

※2 DMZ: インターネットなどに接続されたネットワークで、ファイアウォールなどの機器を用いて外部と内部の両ネットワークの間に設けられたネットワーク領域です。

◇日本航空電子工業株式会社事例ページ

<https://www.dal.co.jp/casestudies/41jae/index.html>

◇製品概要

<https://www.dal.co.jp/products/edi/b2b/outline.html>

◇販売価格(税別)

ACMS B2B 50 万円 (基本機能)～

◇販売経路: DAL のビジネス・パートナー55 社を通じて販売 <https://www.dal.co.jp/partner/>

【株式会社データ・アプリケーション(DAL)について】

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」を提供してきました。「ACMS シリーズ」は、国内の EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに 2300 社 11000 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

【HP】<https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel:03-5640-1437	Tel:03-5640-8544
Fax:03-5640-8541	Fax:03-5640-8541
E-Mail:pr@dal.co.jp	E-Mail:sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。